

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)支援実行委員会では、COP10開催に向けた地域の活動について広くご理解いただくことを目的として、2009年1月より「COP10ニュース」を発行しています。

生物多様性の大切さを身近に感じていただき、皆様と共に2010年10月に愛知・名古屋で開催されるCOP10を盛り上げていくことができるよう、当委員会の活動やイベント情報などを随時発信していきます。

## 2010年は国際生物多様性年です！ 記念行事を開催しました

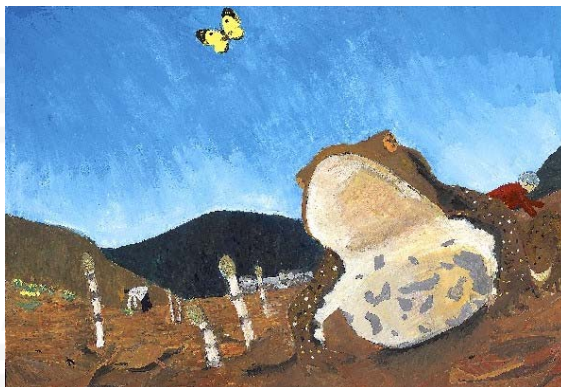
### ■ 記念行事を開催しました！ ■



今年、COP10の開催年であり、また、国連が定めた「国際生物多様性年」です。地球上の全ての生き物にとって重要な1年といえます。

COP10支援実行委員会では、これを記念し1月16日(土)に名古屋市内でオープニング記念行事を開催しました。会場となった名鉄ホールには、満員の約900人来場いただきました。来賓の田島一成環境副大臣からは「素晴らしい地球、そして生物多様性をしっかり次の世代に残すことができるようCOP10の成功に向け、皆様の協力をいただきたい」とのご挨拶がありました。

記念行事では、絵画・写真コンテストの表彰式を行いました。10月2日～12月9日の期間内に、6歳のお子さんから80歳以上のご年配の方まで多くの方々から、絵画282点、写真598点、計880点もの応募をいただきました。このうち、絵画の部では名古屋市の川角大和さん、写真の部では春日井市の野田圭子さんの作品がそれぞれグランプリに選ばれました。



絵画の部グランプリ作品「じいちゃん家(ち)の春」



写真の部グランプリ作品「僕、見てるよ」

表彰式に続いて、C.W.ニコル氏(作家、C.W.ニコル・アフアの森財団理事長)に「自然との共生」をテーマに講演をいただきました。ニコル氏は1980年代半ばから、長野県の荒れた里山を買い取って、さまざまな生き物が暮らせる森を取り戻そうと、再生活動に取り組んできました。講演では、日本の自然の豊かさや文化の多様さ、環境のために活用できる技術力などに触れ、もっと日本の自然の素晴らしさを自慢しようじゃないかと呼びかけました。

引き続き、C.W.ニコル氏、谷口義則氏(名城大学工学部環境創造学科准教授)、水野裕子氏、(タレント)六郷孝也氏(朝日新聞名古屋本社記者)により「暮らしと生物多様性」をテーマにトークセッションを行いました。生物多様性が私たち全ての人の日常生活に深くかかわっていることに気づき、理解するためのよい機会となりました。



絵画・写真コンテスト表彰式



基調講演



トークセッション

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

## COP10ボランティアを募集しています！



COP10 支援実行委員会では、COP10 の会議運営補助や語学等でお手伝いをいただけるボランティア約 800 名（延べ約 2,000 名）を募集しています。愛・地球博での皆さんの力を再び結集して COP10 を成功に導くとともに、人と自然が共生する地域づくりにつなげていきませんか。

- 1 活動期間 2010 年 10 月 6 日（水）～2010 年 10 月 29 日（金）のうち、3 日間程度以上
  - 2 活動場所 名古屋国際会議場、主要駅（名古屋、栄、金山、中部国際空港、藤が丘ほか）愛・地球博記念公園ほか
  - 3 募集期間 2010 年 1 月 16 日（土）～2010 年 3 月 8 日（月）  
なお、2010 年 4 月以降に第 2 次募集を行う予定です。  
（ただし、応募状況により募集内容が変わることがあります。）
  - 4 問い合わせ先 特定非営利活動法人 愛・地球博ボランティアセンター  
電話：052-486-2055（平日 9 時から 17 時 30 分まで）
- ※詳細は愛・地球博ボランティアセンター Web ページをご覧ください。  
[\(http://www.vol-expo2005.jp/\)](http://www.vol-expo2005.jp/)

## COP10 開催記念自然観察会～冬～を開催しています

より多くの県民・市民の皆様身近な自然や生き物に触れていただき、また、COP10 開催に向けた機運を盛り上げるため、各開催団体等の協力を得て「COP10 開催記念自然観察会 ～冬の観察会～」を開催しています。是非ご参加ください。

- 1 開催期間 平成 21 年 12 月～平成 22 年 2 月
- 2 参加方法 申込みの要否、開始時間、参加費の有無などの詳細については、各自然観察会の連絡先までお問い合わせください。
- 3 その他 今後も、春の観察会（平成 22 年 3 月～5 月）、夏の観察会（同年 6 月～8 月）を順次、開催する予定です。

※詳細は COP10 支援実行委員会 Web ページをご覧ください。[\(http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/\)](http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/)



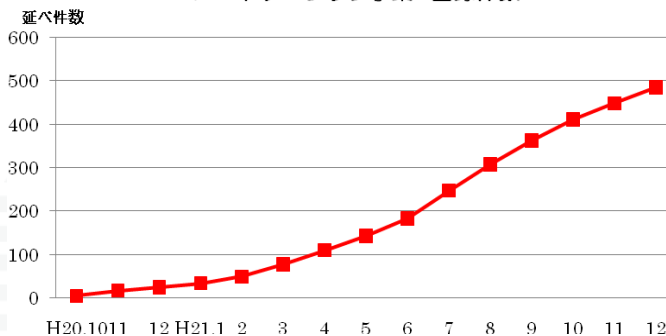
## パートナーシップ事業を募集しています

### ■ パートナーシップ事業とは ■

生物多様性の保全や自然との共生をはじめとした持続可能な社会を目指し、COP10 支援実行委員会のパートナーシップ事業として登録していただき、COP10 開催を一緒に盛り上げていくものです。現在、全国各地の様々な主体からセミナーや講演会等の 485 件（平成 21 年 12 月末）が登録されています。

事業の詳細、応募様式等については COP10 支援実行委員会ホームページをご覧ください。[\(http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/\)](http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/)

パートナーシップ事業 登録件数



## COP10 豆知識

### ■ ミレニアム生態系評価とは ■

ミレニアム生態系評価（英語:Millennium Ecosystem Assessment, MA）とは国際連合の提唱によって 2001 年～2005 年に 95 カ国から 1,360 人の専門家が参加し、行われた地球規模の生態系に関する環境アセスメントです。人類は過去数百年にわたって、地球史上の平均的な絶滅速度の 1000 倍ほどのスピードで、生物種の絶滅速度を増加させており、現在では、哺乳類、鳥類、両生類のおよそ 10～30%が絶滅の危機にさらされているという報告がされています。また、今後とるべき対策についての提案が述べられています。

2010 年の COP10 ではこれらの研究に基づき、ポスト 2010 年目標を定めます。

「COP10 ニュース」編集・発行：生物多様性条約第 10 回締約国会議支援実行委員会

※この「COP10 ニュース」は、当委員会ホームページでも発信しております。 <http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/>